

に じ 虹

ご自由に
お持ち下さい
Take Free

虹の由来

患者の皆さま、地域の皆さまとの
架け橋となるような広報誌を目指します。

〒310-0011
茨城県水戸市三の丸3-12-48
TEL.029-221-5177(代表)
<http://www.mito.jrc.or.jp>



「小中学生病院体験ツアー」の様子

- 「小中学生病院体験ツアー」開催
- 寄り道コラム ~New~
- 地域医療連携課よりお知らせ
- 診療科紹介9～皮膚科
- リンパ浮腫外来のご案内

「小中学生病院体験ツアー」を開催しました



参加者と病院スタッフで集合写真

7月29日(土)、当院にて「小中学生病院体験ツアー」を開催しました。このツアーは、水戸市を含む9市町村で構成する県央地域定住自立圏による事業の一環として今年初めて開催されたもので、小学5年生～中学3年生の28名が参加しました。

ツアーでは、午前中、超音波検査やMRI、放射線治療室、薬剤師業務、屋上ヘリポートなどを見学し、昼食は患者さまへ提供する病院食を実際に食べていただきました。午後は一次救命処置（心臓マッサージと自動体外式除細動器（AED）の使い方）と縫合体験の実習を行いました。縫合体験では、初めて持つメスや針、「持針器」と呼ばれる器具の扱いに戸惑いながらも、当院の医師の指導の下、真剣な眼差しで取り組んでいました。

参加者からは「見たことがないものを見たり、体験できてよかった。」「病院についてより興味を持ったので、また機会があれば参加したい。」「この経験を活かして将来の夢である看護師になれるようがんばりたい。」「将来、医師になりたいという思いが、今回の経験を通してさらに強くなった。」といったうれしい感想をいただきました。

診療科 紹介

皮膚科



●皮膚科部長

小林 桂子

今回は皮膚科についてご紹介いたします。皮膚の疾患は、湿疹、アレルギー、感染症、腫瘍、膠原病(こうげんびょう)など多岐に渡り、皮膚の表面だけでなく、内臓病変、生活スタイルとも関連します。症状に応じて採血や画像検査、病理組織検査などの各種検査をしたり、多職種の病院スタッフや他科医師と連携し診療しています。

皮膚科の治療というと軟膏やクリームなどの外用治療を思い浮かべられるかと思いますが、外用治療は皮膚疾患の基礎となる治療ですが、他にもいろいろな治療があります。当院にはB-UVB療法やエキシマライトの紫外線治療機器があり、いろいろな皮膚疾患の治療に使用しています。また最近では治療効果の高い抗体療法が重症の乾癬(かんせん)や蕁麻疹(じんましん)に使用できるようになりました。疾患別に当院で行っている治療についてご紹介いたします。

<乾癬>

外用療法、免疫抑制剤、ビタミン誘導体の内服治療、紫外線治療などがあり、その方の病状に応じて治療を行います。重症な方や関節症状を伴う場合には生物学的製剤(抗体療法)の治療を行っています。

<褥瘡(じょくそう)>

いわゆる床ずれです。創傷の問題だけでなく、栄養や生活状況が関係しますので、皮膚・排泄ケア認定看護師(WOCナース)、NST(栄養サポートチーム)、リハビリ、薬剤部、ソーシャルワーカーなど多職種のスタッフと協力し診療しています。感染併発時、外科的処置を要する場合は入院で治療を行います。

<腫瘍>良性、悪性腫瘍をダーモスコピーや病理組織検査で診断します。週に1回腫瘍の専門外来があり、局所麻酔下でできる手術は当科で行い、その他のものは筑波大学や当院形成外科医師と連携をとりながら診療しています。また皮膚の悪性腫瘍で緩和ケア病棟を利用される方もいらっしゃいます。

<円形脱毛症>

局所免疫療法、紫外線療法などの治療を行っています。重症の進行期には入院で点滴治療をすることもあります。

<アトピー性皮膚炎>

通常の治療で難治の場合に免疫抑制剤の内服治療や紫外線治療を行っています。

<感染症>

蜂窩織炎(ほうかしきえん)や帯状疱疹(たいじょうほうしん)の重症は入院治療を行います。最近では帯状疱疹の予防接種が可能になりました。

当院の皮膚科は現在3人で担当しています。皮膚疾患に関しましてはお気軽に皮膚科外来にご相談いただければと思います。

当院では、主に外来患者のみなさまに向けた疾病予防・健康増進の情報提供の場として、「寄り道講座」を月2回程度実施しています。当コラムではその内容についてご紹介します。

こんにちは。水戸赤十字病院で看護師をしております橋本信子です。
私は2012年に摂食嚥下障害看護認定看護師の資格を取得したあと、飲み込み（嚥下）に問題を抱えている入院または外来患者さまの相談対応をさせていただいております。

日本人の死亡原因の第3位は肺炎であり、高齢者の肺炎の7割以上が誤嚥に関係していると言われています。そこで食事時の誤嚥を予防する対策をご紹介します。嚥下機能が低下した方が食事をする時は、下記の3点に気をつけるようにしましょう。

<姿勢>

あごを上を向いた姿勢は、食べものが気管に入りやすくなり誤嚥の可能性が高くなります。あごの下に指が3本入るくらいに軽くうなずく（あごを引く）姿勢にすると誤嚥しにくくなります。

<食べものの形態>

食べやすさ、飲みこみやすさは、嚥下機能によって異なります。特に水などの液体はサラサラとしていて、のどを通るときのスピードが食べ物よりも早いため誤嚥しやすくなります。液体には「とろみ」をつけるとよいでしょう。他にもベタベタと粘り気があり口やのどに残りやすいものや、水分が少なくパサパサして飲みこみにくいもの、噛み切れないものなどは誤嚥だけではなく窒息する可能性もあるので注意が必要です。

<口の中に入れるひと口量>

口に入れるひと口量が多いと誤嚥や窒息の原因となります。逆に少なすぎても飲み込みにくいこともあり、1回で飲みこめる量を口の中に入れることが誤嚥予防となります。

人にとって食べることは、必要な水分や栄養を体に取りこむだけではなく、おいしく、楽しみながら食べるなど人間らしく生きるために大切なことです。しかし年齢を重ねるにつれて体を動かすための筋力が衰え、動きはゆっくりになります。それは舌やのどなど「食べる」ことに必要な筋肉にも同じことが言えます。食事の前に口を大きく開閉したり、頬や舌、首、肩を動かすなどの嚥下体操は、嚥下に必要な筋肉を動きやすくし誤嚥を予防する効果が期待できます。「食事量が減った」「食事が終わるまでに時間がかかるようになった」「食事の好みが変わった」など、嚥下に不安を感じるがあればご相談ください。



● 摂食嚥下障害看護認定看護師
橋本 信子

— リンパ浮腫外来のご案内 —

当院では、がんの術後のむくみに悩む患者さまが、安心して日常生活を過ごせるよう、看護専門外来として、リンパ浮腫外来を開設しています。

リンパ浮腫に悩む患者さまは少なくありませんが、早期の予防や適切なケアを行うことで、症状を改善することができます。

お悩みの患者さまがいらっしゃいましたら、まずは該当する疾患の診療科にご紹介いただき、リンパ浮腫のケアをご希望の旨、診療情報提供書にご記入ください。

<対象> ・乳がんや婦人科がんなどの術後リンパ浮腫
・放射線治療後のリンパ浮腫

<費用>

※税別 問診・セルフケア指導・弾性着衣購入相談(計測) … 2,000円
上肢リンパドレナージ (60分) … 5,000円
下肢リンパドレナージ (60分) … 7,000円

<担当> リンパドレナージセラピスト
(担当者3名)

<日時>

完全予約制
月曜日 13:00～15:00 ※他院から患者さまをご紹介いただく場合は、診療情報提供書を
水・木曜日 9:00～15:30 作成の上、地域医療連携課へお問合せください。



地域医療連携課



平成29年度地域医療連携懇親会を開催しました

平成29年7月13日（木）ホテルテラス ザ ガーデン水戸にて、「平成29年度地域医療連携懇親会」を開催しました。

第一部の講演では、当院の地域包括ケア病棟 山崎看護師長が「地域包括ケア病棟を開設して」をテーマに講演を行い、続けて茨城県立医療大学 水上副学長が「地域包括ケアとリハビリテーション」をテーマに講演を行いました。

第二部の懇親会では、当院の満川院長の挨拶の後、水戸市医師会 原会長よりご挨拶をいただきました。

続けて、来賓にてご参加いただいた、常陸太田市、那珂、水郡、県央の医師会長を紹介後、大場内科クリニック 大場院長による乾杯のご発声をいただきました。

また、今年も今後の幅広い医療連携の推進を目指すため、水戸市歯科医師会の大澤会長、茨城県柔道整復師会の竹藤会長にご出席をいただきました。

今回は、過去最高の190名の皆様にご参加いただき、盛況のうちに終了しました。

この席でいただいたご意見等を活かし、今後、より一層の緊密な医療連携を図ってまいりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。



講演会 会場風景



懇親会 会場風景

ホームページへの受診予約申込書書式の追加について (登録医の皆さまへ)

当院の受診予約申込書につきましては、ホームページよりダウンロード・印刷し、必要事項を手書きで記載する方式でしたが、今回パソコンで入力・印刷可能なエクセル形式もダウンロード出来るようになりました。今後とも、登録医の皆様のご意見を頂戴し、当院へ患者様を紹介しやすい環境を整えていきたいと考えておりますので、よろしくお願い申し上げます。

就任のお知らせ

〈平成29年 8月1日付〉

- 泌尿器科 松井 幸英 (まつい ゆきひで)

〈平成29年10月1日付〉

- リハビリテーション科 山本 昌義 (やまもと まさよし)
- 産婦人科 池袋 真 (いけぶくろ しん)

上記の職員が新たに就任いたしました。よろしくお願いいたします。

退職のお知らせ

〈平成29年9月30日付〉

- 産婦人科 小谷野 麻耶
- 整形外科 西田 雄亮

上記の職員が退職いたしました。
大変お世話になりました。



紹介状持参のお願い

初診の方は紹介状(診療情報提供書)の持参をお願いします。



次の場合は、「**紹介状**」が必要となります。

- 当院を初めて受診される場合
- 当院での治療が終了し、再び来院され受診される場合
- 患者さまが任意に診療を中止し、改めて受診される場合

— お持ちでない方は —

選定療養費3,240円(税込)が必要となります。

皆さまの、ご理解とご協力をお願いいたします。 病院長

